

# 令和2年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
人間発達学		講義・演習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人間は生涯にわたり心身の構造や機能が変化していくものであり、人間発達学ではその変化を広く発達と捉えている。それぞれの発達期においてどのような発達過程にあり、発達課題はどのようなものなのか理解することを目的とする。特に胎生期の出生前発達、小児期の成長と成熟、および専門科目である2年次の小児理学療法学に必要な基礎知識としての正常運動発達について理解できることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 出生前発達と出生時の変化を説明できる。2. 小児期の成長、発達全般を説明できる。3. 出生から歩行獲得までの運動発達の質的变化を理解できる。4. 運動発達のマイルストーンを列挙できる。5. 胎生期から老年期までの変化を発達と捉えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	人間発達学総論			
2	出生前発達と出生			
3	出生前発達と出生 新生児期			
4	小児期の身体的成長と成熟			
5	正常発達総論			
6	発達の評価 姿勢反射			
7	正常運動発達各論(1)			
8	正常運動発達各論(2)			
9	正常運動発達各論(3)			
10	正常運動発達各論(4)			
11	正常運動発達各論(5)			
12	正常運動発達各論(6)			
13	その他の発達：上肢機能・目と手の協調性			
14	学童期、青年期における発達			
15	成人期、老年期における発達 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	65%			
レポート				
小テスト	20%	数回実施		
平常点		出席状況、および授業態度を併せて評価し、総合点に加減点する。		
その他	15%	数回の課題について内容と提出状況を評価する。提出期限を守らない場合は減点対象とする。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
シンプル理学療法学シリーズ	細田 多穂（監）	南江堂		
小児理学療法学テキスト改訂第3版				
自由記載	随時プリントを配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
教材として学生自身の母子手帳を使用する予定。				